

ナンブランラト（JPH203）の進行性胆道がんに関する事後解析論文が 学術誌「Cancers」に掲載

— 探索的知見をグローバル第3相試験（Beacon-BTC）で前向きに検証—

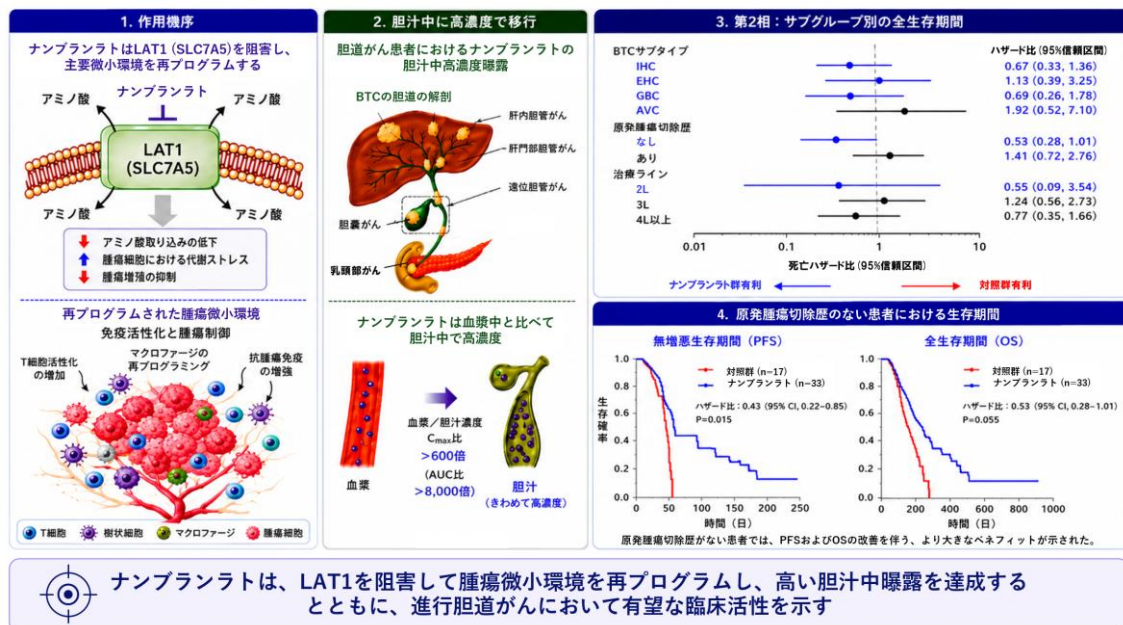
2026年8月12日

ジェイファーマ株式会社

ジェイファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉武益広、以下「当社」）は、進行性胆道がん患者を対象としたナンブランラト（開発コード：JPH203）の国内第1相および第2相臨床試験データを用いた事後解析論文が、査読付き学術誌「Cancers」に掲載されたことをお知らせいたします。

本論文は、これまでの臨床試験データを用いた曝露-反応（exposure-response）解析やサブグループ解析を通じて、今後の臨床開発で前向きに検証すべき科学的仮説を整理したものです。本解析は探索的なものであり、特定の患者群における有効性や患者選択基準を確立するものではありませんが、得られた知見は、現在実施中のグローバル第3相臨床試験（Beacon-BTC）で前向きに検証する科学的仮説として位置付けられています。

ナンブランラト：作用機序、胆汁中高濃度曝露、および進行胆道がんにおける探索的臨床所見



本論文の位置付けとグローバル第3相臨床試験（Beacon-BTC）への展開

Beacon-BTC は、一次標準治療が無効または不耐となった、治療切除不能な進行・再発胆道

がん患者を対象とするグローバル第3相臨床試験です。複数のナンプランラト投与レジメンと担当医が選択する治療を無作為化して比較し、全生存期間（OS）を主要評価項目として、有効性および安全性、忍容性及び薬物動態を総合的に評価します。

本論文で整理された科学的仮説を Beacon-BTC で前向きに検証することにより、ナンプランラトの治療効果を適切に評価し、承認申請に必要なエビデンスの構築を目指します。

当社代表取締役社長 吉武益広のコメント

「これまでの臨床試験データから得られた探索的知見が、査読論文として公表されたことを大変意義深く受け止めています。本論文は、ナンプランラトの臨床的価値を検討する上で重要な科学的示唆を提供するものであり、現在実施中のグローバル第3相臨床試験(Beacon-BTC)を通じて、その有効性および安全性を適切に評価してまいります。

当社は、本論文の公表を研究者および医療関係者への情報提供や事業提携の検討にも活用し、ナンプランラトを新たな治療選択肢として患者に一日でも早く届けることを目指してまいります。」

■掲載論文の概要

掲載誌：Cancers

論文名：Clinical and LAT1 Biomarker Correlates of Clinical Benefit from Nanvuranlat (JPH203) in Advanced Biliary Tract Cancer: A Post Hoc Analysis

著者：Eric K. Rowinsky, Ghassan K. Abou-Alfa, Junji Furuse, Makoto Ueno, Masafumi Ikeda, Hiroko Tabuchi, Kazuo Sekiguchi, Michael Szarek

書誌情報：Cancers 2026, 18(15), 2492

DOI：10.3390/cancers18152492

論文 URL：<https://www.mdpi.com/2072-6694/18/15/2492>

【ナンプランラトについて】

ナンプランラト（開発コード：JPH203）は、当社が新規創製した LAT1 選択的阻害剤であり、同作用機序の薬剤として世界で初めて臨床開発が進められている低分子化合物です。LAT1 (L-type amino acid transporter 1、L 型アミノ酸トランスポーター1) は、細胞内へのアミノ酸取り

込みに関与するトランスポーターの一つであり、多くのがん細胞で高発現していることが知られています。医薬品として承認された場合、ファースト・イン・クラス（疾患に対して新しい作用機序で初めて承認に至る医薬品）の新薬となる可能性があります。当社は 2015 年より複数の固形がんを対象とした第 1 相臨床試験を実施し、その成果を踏まえ、進行性胆道がん治療への適応可能性を見出しました。2018 年からは進行性胆道がんを対象とした第 2 相臨床試験を実施し、PFS についてプラセボ群と比較して有意な改善と良好な安全性を確認しました。

また、ナンブランラトは 2022 年 4 月に米国食品医薬品局 (FDA) よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）指定を受け、2024 年 9 月 25 日にはナンブランラトのがん患者様を対象とする臨床試験に関する Investigational New Drug (IND) 申請が受理されました。さらに、2025 年 5 月には、商業製造スケールにおける CMC（化学・製造・品質管理）が、FDA の要求する品質基準を満たしていることが確認されました。これらの進展を踏まえ、当社は 2025 年 12 月にグローバル第 3 相臨床試験を開始し、現在、試験を実施しています。

ナンブランラト国内第 2 相試験の結果に関する論文

Furuse et al. A Phase II Placebo-Controlled Study of the Effect and Safety of Nanvuranlat in Patients with Advanced Biliary Tract Cancers Previously Treated by Systemic Chemotherapy. Clin Cancer Res. 2024; 30(18):3990-3995. <https://doi.org/10.1158/1078-0432.CCR-24-0461>

【ナンブランラト (JPH203) と免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) の非臨床での併用効果】
がん免疫療法に抵抗性を示す 4T1 同系マウス移植モデルにおいて、ナンブランラトと ICI 抗体との併用効果が検証されました。その結果、ナンブランラトと ICI 抗体の併用投与により、各単剤投与と比較して有意な抗腫瘍効果の増強が確認されました。

また、併用により CD4+および CD8+腫瘍浸潤リンパ球 (TIL) の増加、ならびに抗腫瘍免疫抑制に関与する FoxP3 陽性 CD4+ T 細胞の減少が認められました [1, 2, 3]。

さらに、M1/M2 マクロファージ比の上昇およびがん関連線維芽細胞 (CAF) の蓄積抑制も確認されており [3]、ナンブランラトと ICI 抗体との併用により腫瘍免疫微小環境の改善が示唆されています。

1. Zhao Y et al. Targeting LAT1 with JPH203 to reduce TNBC proliferation and reshape suppressive immune microenvironment by blocking essential amino acid uptake. Amino Acids. 2025;57(1):27. <https://doi.org/10.1007/s00726-025-03456-3>
2. Huang R et al. Targeting glutamine metabolic reprogramming of SLC7A5 enhances the efficacy of anti-PD-1 in triple-negative breast cancer. Front Immunol. 2023, 14:1251643. <https://doi.org/10.3389/fimmu.2023.1251643>
3. Nanvuranlat Investigator's Brochure version 10.0, September 2025

【関連情報】

- ・ ナンブランラトと胆道がん

https://www.j-pharma.com/pipeline/biliary_tract_cancer/

- ・ 胆道がんを対象としたグローバル第3相試験（Beacon-BTC）について

https://www.j-pharma.com/clinical_trial/biliary_tract_cancer_p3/

- ・ ナンブランラトと免疫チェックポイント阻害剤の併用を検証する医師主導臨床試験の詳細（jRCT）

<https://jrct.mhlw.go.jp/latest-detail/jRCT2031260086>

- ・ ナンブランラト作用機序動画

<https://www.j-pharma.com/assets/video/251209.mp4>

【ジェイファーマ株式会社について】

当社は、「SLC トランスポーターの新たな可能性を追求し、アンメット・メディカル・ニーズに応える革新的新薬の開発を通じて、世界中の人々が健康を維持し、希望を持ち続けることに貢献する」を企業理念としています。この理念のもと、SLC トランスポーターのひとつで創業者が発見した LAT1（L 型アミノ酸トランスポーター1）に注力し、がんや自己免疫疾患において既存薬では対応できない患者様のニーズに応える新薬開発を推進しています。

ジェイファーマ株式会社の詳細は、当社ウェブサイト <https://www.j-pharma.com/> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

ジェイファーマ株式会社 企画部

TEL：03-6432-4270

<https://www.j-pharma.com/contact/>